健康スポーツ文化都市 Well-being Sports Culture City

市議会をもっと身近に…

のだ 市議会だより

Noda City Council News

第172号
令和8年11月1日発行
9月定例会

特集 令和７年度決算のあらまし



高校生レストラン「のだかまキッチン」の厨房

目　次

特集：令和7年度決算のあらまし …… P.２
主要事業ピックアップ …… P.４
常任委員会 …… P.６
一般質問 …… P.８
審議結果 …… P.15
お知らせ …… P.16

特集 令和7年度 決算のあらまし

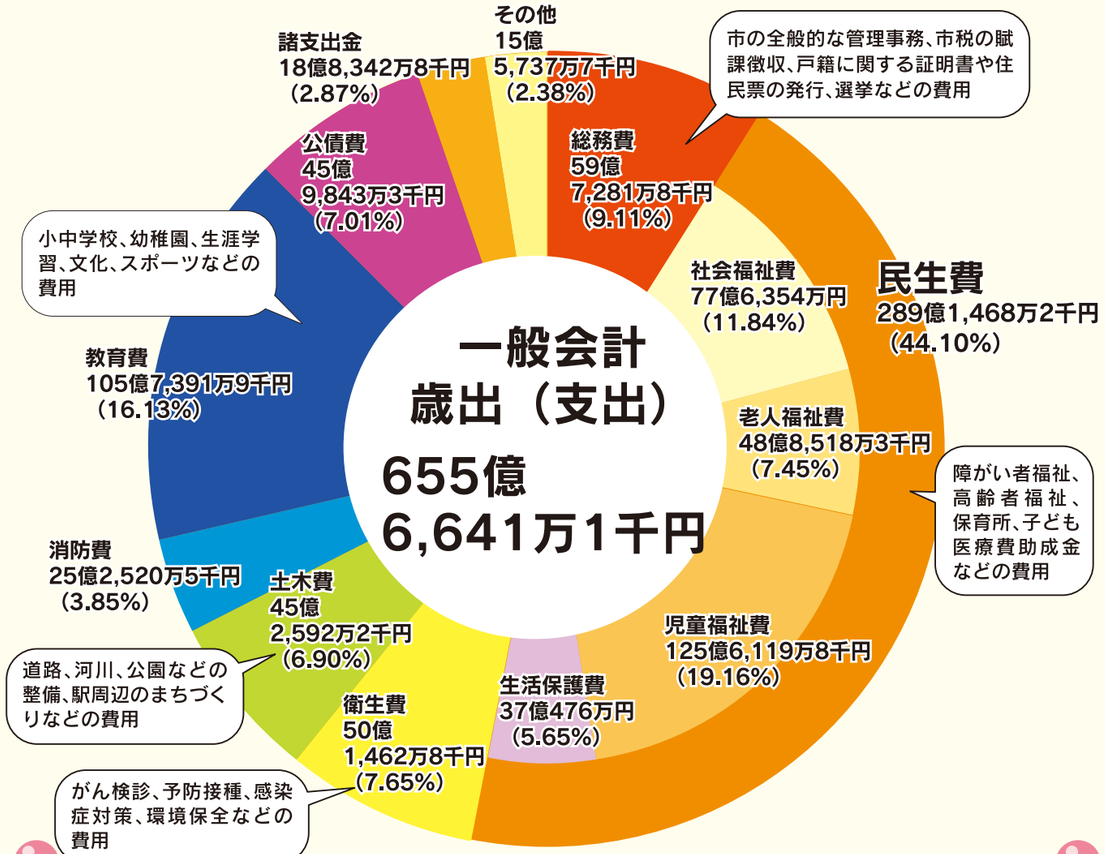
令和７年度決算の審査に当たっては、10人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。９月16日から開催された委員会では、審査に先立ち令和７年度中に実施された主な事業の現地を視察し、18日までの３日間にわたり慎重な審査を行いました。その後、９月28日の本会議において採決が行われ、全ての会計決算を認定しました。

決算審査特別委員会

委員長	竹内　美穂		
副委員長	木村　欽一		
委　員			
安江　晃平		小林　邦徳	
小林　裕子		濵田　勇次	
栗原　基起		小椋　直樹	
星野　幸治		小室美枝子	

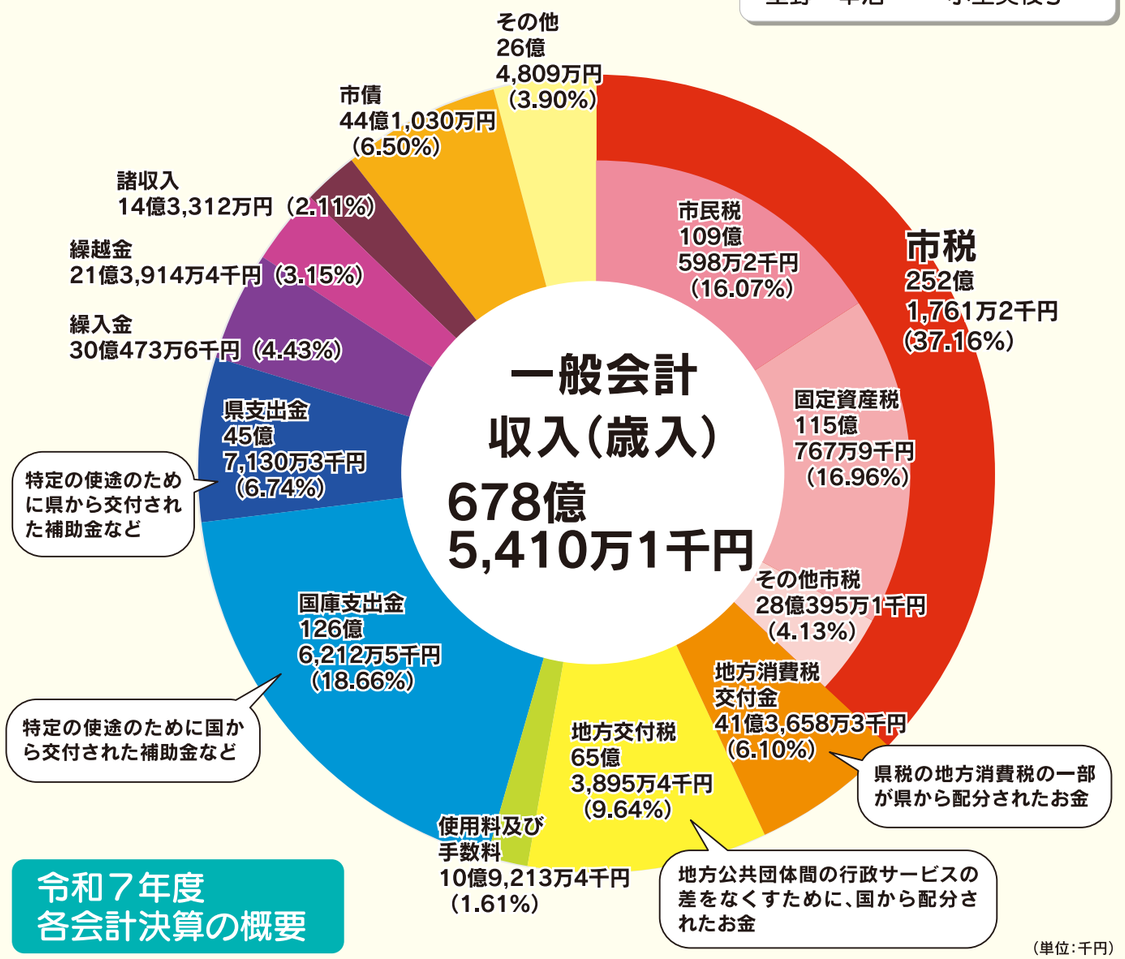
認定

特別会計を含む
歳出総額 971億8,347万7千円



３日間の審査では様々な質疑がありました。





令和７年度 各会計決算の概要

（単位：千円）

会計名	一般会計	特別会計			合　計
		国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療	
歳 入	67,854,101	15,282,428	13,788,281	2,916,725	99,841,535
前年度比	4,768,289	△ 493,784	562,669	288,337	5,125,511
歳 出	65,566,411	15,267,676	13,647,224	2,702,166	97,183,477
前年度比	4,619,744	△ 453,443	508,837	155,735	4,830,873

主要事業

令和7年度決算 PICKUP

市民への防災士資格取得費用の助成
決算額 380万1,900円

●防災士の資格取得を通じて地域防災力の向上を図るため、自主防災組織または自治会の推薦を受けた者であって、特定非営利活動法人日本防災士機構が実施する防災士資格取得試験に合格した者に対し、資格取得に要した費用が助成されている

市道93057号線歩道整備事業費
決算額 3,144万200円

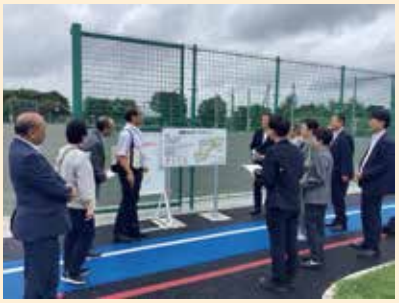
●本路線は、主要地方道我孫子関宿線と市道93769号線を結ぶ生活道路であり、木間ケ瀬小学校及び木間ケ瀬中学校の通学路にもなっている
●幅員が狭く歩行者が危険な状況であるため、周辺地域の交通安全対策として歩道整備及び道路拡幅整備が実施され、生徒及びその他歩行者の交通安全が確保された
●令和7年度は、歩道整備工事及び土留工事等のほか、境界杭埋設業務委託が実施された

中学校トイレ改修事業
決算額 8億7,840万3,000円

●学校施設のトイレ改修は、洋式化を早期に進めるため、国の学校施設環境改善交付金や学校施設整備等基金を活用しながら、可能な限り計画を前倒して実施されている
●令和7年度は、第二中学校、南部中学校、北部中学校、岩名中学校、二川中学校のトイレ改修工事が実施された
●8年度に実施予定の第一中学校、東部中学校、川間中学校、福田中学校、木間ケ瀬中学校、関宿中学校のトイレ改修設計が実施された

(仮称)関宿スポーツフィールド整備事業
決算額 4億434万6,800円

●令和7年度は、6年度に実施した実施設計に基づき、遊歩道や多目的広場等の整備工事が実施された
●災害時にも防災トイレとして活用できる自己完結型ミネラルイオントイレが整備された
●8年4月1日に「野田市営関宿スポーツパーク」としてオープンすることを記念して、野田スポーツコミッションにより3月29日に完成式典及び野田市少年野球春季大会開会式が開催された



中学校屋内運動場等空調設備設置事業
決算額 7億5,142万3,000円

●災害時の避難所として指定されている体育館について、近年の猛暑等を踏まえ、早急に空調設備を設置するため、財源に緊急防災･減災事業債を活用して事業が実施されている
●令和7年度は、第二中学校、南部中学校、北部中学校、岩名中学校、二川中学校の屋内運動場等空調設備設置工事が実施された



有害鳥獣対策事業

決算額 805万1,752円

- 外来生物法により特定外来生物に指定されているアライグマや有害鳥獣であるイノシシ等の捕獲及び処分による防除に取り組まれている
- 捕獲したアライグマ等の殺処分やカラス等の駆除を猟友会に委託して実施されている
- 令和7年度は、有害鳥獣捕獲従事者の負担を軽減するとともに、効率的な捕獲を推進するため、箱わなが作動したことを通知するシステムが導入された

奨学金返還支援事業

決算額 1,218万6,000円

- 若者の経済的負担を軽減することで本市への移住の促進及び本市からの転出の抑制を図り、地域の活性化及び労働人口を確保することを目的として、令和7年度から開始された
- 独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金又は公益財団法人交通遺児育英会貸与型奨学金を利用して大学等を卒業した39歳以下の市民に対し、毎年の奨学金返還額の70%(上限12万円)を最長5年間支援する

子育て世帯移住促進事業

決算額 822,800円

- 若い世代の移住･定住を促進するため、市外在住の未就学児とその保護者を対象として、野田市の豊かな自然を体験していただきつつ、市の子育て支援策をPRする魅力体験ツアーが令和7年度から開始された
- 7年度は、有機栽培サツマイモ農家における収穫体験に加え、こうのとりの里、清水公園、のだしこども館supported by kikkoman、ゆめあぐり野田をめぐるツアーが8月26日、31日及び9月6日の3日間実施された

総合公園整備事業

決算額 2億219万9,805円

- 総合公園施設及び附帯施設の老朽化に伴い、計画的に施設の修繕及び改修工事を行うとともに、指定管理者と連携して必要な施設改修工事等が行われている
- 令和7年度は、野球場改修工事としてスコアボード及びグラウンドの改修工事が実施された
- 避難所として指定されている体育館について、近年の猛暑等を踏まえ、早急に空調設備を設置するため、財源に緊急防災･減災事業債を活用して体育館空調設備設置工事設計業務が実施された



市制施行75周年記念事業

決算額 3,961万9,703円

【主な事業】

- 「市制施行75周年記念式典」
  令和7年5月3日に市制施行75周年を迎え、野田ガスホール(野田市文化会館)で「市制施行75周年記念式典」が開催された
- 「まめバスチョロQ制作販売事業」
  まめバスの利用促進を図るとともに、野田市への愛着心の醸成を図ることを目的に、オリジナルのまめバスチョロQ(ゼンマイ式ミニカー)が製作された



© TOMY 「チョロQ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

常任委員会リポート

野田市議会では、「総務」「環境経済」「文教福祉」「建設」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する議案等を審査しています。

総務

■令和8年度一般会計補正予算（第2号）

早期不妊検査費の助成が始まります

令和8年10月1日より、不妊検査に要する費用の一部助成が始まります。

子供を望む夫婦に対し、早期に検査を受けやすい環境を整備し、夫婦それぞれが自身の健康状態を把握するとともに、今後の人生設計を考える機会を確保し、必要に応じて適切な相談または治療につながることを支援することを目的としています。

なお本事業は、千葉県の補助金（補助率10分の10）を活用して実施されるものです。

耐震診断費補助金及び耐震改修工事費補助金の内容が拡充されます

現在は昭和56年5月以前の旧耐震基準の木造住宅を対象としていますが、耐震改修につながっていない現状を踏まえ、平成12年5月までの新耐震基準の木造住宅まで対象が拡大されます。

また令和8年10月1日から、耐震改修工事費補助金の補助額を、現在の100万円から、115万円に増額して制度の拡充が図られます。

通話録音システムが導入されます

近年、過度な要求や不当な言動によるカスタマーハラスメントが社会問題となる中、事案の発生の抑止及び職員の安全確保を目的として、本庁舎への通話録音システムの導入が進められます。

なお、導入時期については、令和9年2月からの運用開始を目指し、準備が進められます。



外国人住民向け総合相談窓口が設置されます

市内在住の外国人が増加していることを受け、日本語での会話に不安を抱える外国人住民が安心して生活できるよう、日常生活全般に関する相談対応を一元化するため、字幕表示システム「コトパット」を利用した外国人向けの総合相談窓口が設置されます。

なお、設置時期については、令和8年度内を目途に準備が進められます。

環境経済

新五駄排水機場のポンプの部品交換及び電動機等の更新が行われます

■新五駄排水機場機械設備更新工事請負契約の締結

新五駄排水機場は、造成されてから約40年が経過し、変圧器、高圧受電設備等については地域農業水利施設ストックマネジメント事業により令和4年度に更新が完了されました。また、同年度に機能診断が行われ、機能保全計画が策定され、「劣化状況は顕著であり、早急な更新または部品交換による対策が必要」と評価されました。

本施設が機械の故障により排水不能に陥った場合、受益地の農業被害に加え、上流域の工業団地、国道、一般家屋への浸水被害が想定され、被害は農地以外にも及び、深刻な状況となります。重大な事故の発生を未然に防止するため、機械設備更新工事が早期に実施され、施設の長寿命化が図られます。

工期は令和10年3月15日までとなります。

全会一致

文教福祉

清水保育所及び北部保育所の公私連携型保育所への移行に向け、関連する規定が整備されました

■市立保育所設置及び管理に関する条例の一部改正

令和8年度末をもって指定管理期間が満了となる清水保育所及び北部保育所について、9年度から公私連携型保育所に移行することから、両施設の廃止に係る条例改正がされました。

また、両施設とも現指定管理者が公私連携保育法人として、移行後も施設運営を行いますが、保育所の敷地及び建物を減額貸付けする議案についても可決されました。

なお、建物については公私連携型保育所の運営開始後5年を目途に、事業者において建替えを行うこととされています。

公私連携型保育所とは、指定管理者制度とは異なり、民設民営の施設となることから、柔軟性の高い対応が可能となり、保育サービスの向上が期待されています。また、運営費において国や県の交付金を受けることができるため、財政面でのメリットがあるとされています。

賛成

建設

梅郷駅西土地区画整理事業に係る全ての事務が完了しました

■都市計画事業梅郷駅西土地区画整理事業施行に関する条例の廃止

本事業については、令和7年11月21日付けで千葉県知事により換地処分の公告が行われたことから、土地区画整理事業に係る清算金の徴収交付事務が進められてきました。

8年7月10日をもって全ての権利者の精算事務が終了し、本事業に係る全ての事務が完了したことから、野田都市計画事業梅郷駅西土地区画整理事業施行に関し必要な事項を定めた条例が廃止されました。

建設

路線整理のため道路線が認定されました

■道路線の認定

南部52322号線、福田61261号線が開発行為による路線整理のため認定されました。



認定道路の現地視察

一般質問 市政を問う QA

９月定例会では19人の議員が一般質問に登壇しました。こちらでは質疑と答弁を抜粋し、要約したものを紹介します。

※ＱＲコードから、一般質問の動画をご覧いただくことができます。



のだみらい
栗原　基起
議員

ふるさと納税による財源確保について

問　寄附の受入額及び市外への市税流出額を伺う。

答　令和７年度の寄附受入額は前年度と比べ約１千500万円増の約２億５千500万円となったが、委託料等の経費についても前年度と比べ約１千500万円増の約１億１千600万円となったため、経費を差し引いた実質的な寄附額は前年度同様の約１億３千900万円となっている。

また、市外への寄附に伴う市税の流出額については、純粋なふるさと納税分を把握することができないため、市民税の寄附金税額控除額では、７年度は前年度と比べて約２千600万円増の約３億６千800万円となっている。

このため、経費を除いた実質的な寄附額と市税の流出額との比較では、マイナス幅が２千600万円拡大し、約２億２千900万円のマイナスとなっている。

他の質問
・空き家の流通・利活用の促進



公明党
小林　裕子
議員

育児や介護を担うダブルケア支援について

問　ダブルケア支援の関係部署の情報共有と連携に係る現状と課題を伺う。

答　相談を受けた部署において、一つの機関だけでは対応しきれない複数の課題を抱えていると判断した場合には、重層的支援体制整備事業や中核地域生活支援センターのだネット等と連携し、対応を図っている。

しかしながら、複合的な課題を抱えた方がどこに相談すべきか迷ってしまう状況がある中で、職員の意識はまだまだ低く、どの部署も自分の相談業務のみ対応するという縦割りの意識が残っていると言わざるを得ない。

庁内全体の相談支援に関する共通理解を深めるとともに、各種研修の受講などを通じた専門性の向上を図り、組織全体で人を育てる仕組みづくりに取り組みながら、支援体制の充実に努める。

他の質問
・マイボトル対応型給水機



六諭会
川崎　貴志
議員

福田地区義務教育学校について

問　義務教育学校が目指す教育内容について伺う。

答　福田の森学園では、福田地区の良さである地域密着の教育を通して、教育理念である「ふるさと野田への誇りと深い愛情を育み、世界へ、そして未来へ羽ばたく人材を育成する」に基づき、地域愛を育み、さらに広い世界や新たな未来を主体的に創造する人材を育成していく。

そのために、義務教育学校の最大の良さである系統的な学びを通して、主体的に未来を創造する力、多様な人々と関わるコミュニケーション能力、互いを尊重し共に生きる力を身につけていく必要がある。これらの力を効果的に身につけるために、９年間を見通した指導の充実、地域を誇りに思い地域とともに歩む学校づくり、グローバル社会で通用する英語力の育成、日常的な異学年交流で社会性と他者理解を育む、の４つの骨子による特色ある教育活動を実施する。こうした取組を通じて、福田地区以外の児童生徒も通いたいと思ってもらえるような、魅力ある学校を実現していく。



政清会
深井　和幸
議員

公共施設使用料等の負担の適正化について

問　公共施設の使用料等における課題と今後の対応方針について伺う。

答　使用料等の適正化に係る方針として、市民料金は近隣自治体との均衡が概ねとれていることから、当面は見直しを行わない。市外居住者の料金については、一部のスポーツ施設で市外居住者の利用割合が高いため、市民優先の観点から、令和９年度から市外居住者の料金を近隣自治体と同じ市民料金の２倍に引き上げる。

市民火葬料については、近隣では本市のみ無料であり、市外居住者の料金も安価であるため、９年度から市民火葬料を有料化し市外居住者の料金を引き上げる。

これらのことについて、行政改革推進委員会で了承され、パブリック・コメント手続での意見への対応を同委員会で審議後、答申を尊重し、市の方針を定め取組を進めていく。

他の質問
・ＤＸ推進による住民サービスの充実



日本共産党野田市議団
寺田　敬子
議員

不登校問題に対するフリースクール等との連携について

問　民間のフリースクールや子どもの居場所との連携について伺う。

答　令和５年に文部科学省から示されたＣＯＣＯＬＯプランでは、多様な学びの場の確保と、民間団体等との連携強化が強く求められており、本市においても、フリースクールとの連携・協働が不可欠と考えている。

現在、学校ではフリースクールから通所している子供の報告を受け取っているが、学校側からフリースクールへの主体的なアプローチについては、まだ十分ではない。そのため、連携の在り方を教職員に周知するとともに、より緊密な情報共有を図っていきたいと考えている。

今後も、自分に合った居場所を選べる環境を整え、相談から支援、社会的自立まで、切れ目のない支援体制の構築に取り組む。

他の質問
・学校部活動と教職員の長時間勤務
・学校図書館司書　ほか



民主連合
滝本　恵一
議員

野田市駅及び愛宕駅の自由通路について

問　自由通路の活用について伺う。

答　自由通路については、維持管理に関する協定書において、物品販売や広告類の頒布などの行為が禁止されている。この協定は、自由通路本来の目的である円滑かつ安全な交通の確保を守り、歩行者の動線を阻害することによる混雑や混乱、さらには火気の使用や衛生管理、安全上のリスク等を未然に防止するため、極めて重要な規定であると認識している。

したがって、現段階においては、通勤、通学時の安全な歩行空間の確保と、適切な維持管理の徹底を最優先課題として取り組むべきであると考えている。

その上で、将来的な公共空間の有効活用や賑わい創出の可能性については、周辺のまちづくりの熟度が高まった段階を見据え、鉄道事業者との協議を進める。

他の質問
・学校ＤＸの推進
・部活動の地域移行



つなげる会
小室　美枝子
議員

下水道整備状況及び今後の課題について

問　汚水に係る下水道管更新の課題や計画区域見直しの必要性を伺う。

答　下水道管の更新については、下水道整備の着手当初は管路材として主に鉄筋コンクリート管が用いられており、この製品の耐用年数50年に到達する下水道施設は年々増えているため、老朽化に伴い修繕等が必要となる施設も増加傾向にある。そこで、下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的な管路の更新を図っているが、国の交付金による財政支援は、必ずしも十分な規模とは言えず、事業費確保が大きな課題となっている。

また、全体計画区域の見直しについては、東京湾流域別下水道整備総合計画等の上位計画との整合性も図りながら、実状に合わせた汚水処理の最適化について慎重に検討していきたいと考えている。

他の質問
・合併処理浄化槽推進
・自己完結型トイレの管理と課題　ほか



野田の明日を考える会
金木　祐輔
議員

屋外公共施設のトイレ環境の改善について

問　野球場やサッカー場のトイレ環境と、今後の整備計画について伺う。

答　公共施設の屋外トイレ清掃は、管理人が常駐している総合公園や関宿スポーツパークなどの施設では毎日1回以上実施しており、その他のスポーツ施設や公園、児童遊園などではシルバー人材センター等に委託をして週に1回から2回実施している。今後も利用者一人一人のマナー向上に向けた周知に努めていきたいと考えている。

今後の整備計画については、施設の利用者数や現地の状況を総合的に勘案して進めていくが、まずは総合公園ＳＡＮ－ＰＯＷスタジアム野田の屋外トイレが老朽化しており、また、くみ取式であることから、スタジアムの改修と合わせたトイレ改修を計画している。その他の施設についても施設改修に合わせた整備を図るほか、その中で上下水道の整備状況を踏まえ、自己完結型トイレの設置についても検討していきたい。



のだのみらいを守る会
齊藤　拓樹
議員

ヤード等の現状について

問　柵により中が見えないようなヤード等に関する、市の認識を伺う。

答　ヤードは多岐にわたっており、それぞれに関係する法律や規制が異なっている。高い塀により内部が遮断されていることによる市民の不安については十分に重く受け止めている。

県の特定再生資源屋外保管業に関する規制条例施行後、一定の抑制効果が見られているがアクリル板等の設置規定が明文化されていないことから、見通しを確保するよう市が意見を付しても強制力がなく、改善が進みにくい状況である。

このような中、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の一部改正の法律が公布され、事業者に対する新たな許可制度が導入された。今後は国の動向を注視し、県条例において、アクリル板などの設置規定が盛り込まれるよう要望するとともに、現場での監視を強化していく。

他の質問
・外国人住民の日本語学習機会等



のだみらい
安江　晃平
議員

生活道路の法定速度引下げに伴う市道の維持管理について

問　市が管理する車道の中央線について、今後の維持管理を伺う。

答　施行前に中央線の状況を把握するため、小中学校周辺を中心に調査を実施した結果、中央線が消えている路線等が確認された。

野田警察署に確認したところ、現状中央線が消えている路線は時速30キロメートルとして扱い、中央線を新たに消して生活道路に引き下げる場合は警察協議が必要とのことであった。

歩行者等の往来が多く、安全性を確保する必要性が高い路線や、住宅街で良好な住環境が必要な路線については、法定速度を抑制する目的として、中央線の引き直しは原則行わないこととした。さらに中央線の有無から運転者の誤認を防ぐため、必要な路線については警察との情報共有や注意喚起も実施していく。

他の質問
・冠水注意を促す電光掲示板の管理等



公明党
荒川　孝子
議員

内水氾濫への対策について

問　内水氾濫を防ぐ現状の取組と課題及び今後の取組について伺う。

答　関宿地域では、阿部沼第1号調整池鋼矢板設置を今年度に完了し、来年度より掘削工事に着手する予定である。また、野田地域では、南部1号などの雨水幹線整備を進めるとともに、日頃から側溝の清掃や水路・調整池等のしゅんせつなど、適切な維持管理に努めている。

しかしながら、近年の降雨の激甚化に加え、市内にある既存施設を同一水準で短期間に整備・維持管理することが困難であるといった課題がある。

今後は、優先順位をつけた施設整備や、清掃等による既存施設の能力の最大限の発揮に加え、調整池等による一時貯留対策も組み合わせていく。さらに、土のうステーション設置や、防災ポータルを通じた避難の呼びかけなど、減災の取組を充実させ、安全安心に暮らせるまちづくりを進めていく。

他の質問
・鈴木貫太郎翁の市民への周知とPR



六諭会
竹内　美穂
議員

今後のごみ減量施策について

問　ごみ出しルールの徹底と市民意識向上に向けた方策について伺う。

答　「ごみの出し方・資源の出し方」や「ごみ分別促進アプリ「さんあ～る」等の既存媒体を利用するとともに、地区連絡会及び地区座談会等における意見交換の場や地域の状況に応じたチラシ配布と回覧を活用し、市民意識の向上を図りたい。

なお、ごみ減量は地球温暖化対策の一環であることから、温暖化対策の啓発も重要であると考えており、令和5年度から野田ガス株式会社と連携して中学1年生を対象とした環境学習を毎年実施している。

また、令和2年に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、CO_2排出量を削減する取組を推進しており、その成果などを具体的に示すことは大変有効だと考えている。

今後も市民の皆様に理解を深めていただけるよう、伝え方を工夫しながら周知を行っていきたい。

他の質問
・指定ごみ袋の見直し



政清会
木村　欽一
議員

治水について

問　下水道工事における想定時間降雨量及び雨水排水設備について伺う。

答　下水道整備における設計上の想定時間降雨量については、国の技術基準等に基づき1時間50ミリの降雨を目標として、ハード対策として整備を進めている。一方で、近年の気候変動に伴う局地的な大雨に対応するため、ソフト対策として、内水ハザードマップの作成等を通じ、想定し得る最大規模の降雨である時間雨量153ミリも視野に入れた総合的な浸水リスクの把握と啓発に努め、ハード・ソフト両面の対策を進めている。

雨水排水施設整備として、雨水幹線及び調整池の整備、既存ポンプの機能強化と維持管理及び流出抑制施設の導入促進の3点を重点的に進めている。

今後も計画的なハード整備を推進し、気候変動に対応した排水施設の構築に尽くしていく。

他の質問
・交通安全対策



日本共産党野田市議団
星野　幸治
議員

公民館のトイレの洋式化について

問　今後のトイレ洋式化の計画について伺う。

答　公民館も含めた市全体の公共施設のトイレ洋式化については、令和6年度までは福祉のまちづくり事業の一環として進めていたが、7年度からは当該事業から分離し、基本的に公共施設の老朽化対策工事と併せて実施することで、迅速化及び効率化を図ることとしている。このため、8年度は関宿複合センターの空調設備改修工事や野田ガスホール（文化会館）の舞台吊物機構設備改修工事と併せて進めている。

一方で、老朽化対策工事の予定が当面ない施設については、基本的には洋式化率の低い施設から、利用状況等も踏まえて優先順位を付け、洋式化を進める方針としている。関宿地域の公民館については、いずれも洋式化率が低く、優先順位は高いと認識しているため、順次整備を進めていく。

他の質問
・障がい者グループホーム
・市営住宅の住環境の整備



民主連合
小椋　直樹
議員

地域包括支援センターの現状と今後の体制について

問　業務量や相談件数をどのように職員配置や委託料に反映しているか伺う。

答　各地域包括支援センターからの毎月の事業報告によると、相談件数はほぼ横ばいになっているが、内容が複雑化し、困難事例の増加により、業務負担は増大している。また、関係機関との調整や付随する事務等は追いついていない状況も見受けられるので、今後さらなる把握に努め、各委託包括と運営に対する協議を進めていく。

職員配置人数については、介護保険法に基づく市の条例により各包括の区域内高齢者人口を基に決定しており、高齢者人口の増加に伴い、委託料とともに適正な配置人数について精査を進めていく。

今後も高齢者単身世帯の増加等を踏まえ、適正な委託料の設定、事務の効率化や働き方の見直し、改善を通じて専門職の定着を図り、持続可能な体制づくりを進めていく。

他の質問
・障がい者雇用



のだみらい
庄司　真生
議員

野田橋の渋滞緩和について

問　野田橋周辺の交通渋滞解消に向けて行った要望活動について伺う。

答　野田橋周辺の慢性的な交通渋滞を解消するためには、野田橋の架け替えを含む4車線化を実現することが最も重要であることから、浦和野田線建設促進期成同盟会として長年にわたり要望活動を行っており、今年度も既に埼玉県知事、国土交通大臣、財務省に対して要望書を提出している。

また、10月下旬には千葉県知事に対する要望があるが、昨年8月に行われた現地視察及び意見交換会において、本事業の重要性を知事に認識いただいていることから、現在進められている道路概略設計の次のステップである道路予備設計の早期着手に向けた検討を進められるよう強く要望する予定である。

今後も事業の早期実現に向け、関係機関への要望活動を引き続き実施していく。

他の質問
・有害鳥獣対策について



公明党
桜田　康則
議員

乳幼児健康診査について

問　国の方針として5歳児健診を推奨しているが、市の考えを伺う。

答　5歳児健康診査については、市としても幼児期から学童期への移行期における発達特性の把握や、就学に向けた切れ目のない支援の重要性は認識している。国においても令和8年8月31日に9年度予算概算要求の概要が示され、10年度までに実施自治体割合100％を目標とし、5歳児健康診査に対する財政支援をはじめ、必要な技術的支援や体制整備に係る財政支援を行うこととされ、全国展開を目指していることが示されている。

市としては、小児科医を含む専門職の確保、健診後の療育、保育所等や就学先との連携といったフォローの体制づくりなど、課題を精査し、国の方針に対応できるよう情報収集に努め、10年度から実施する。



他の質問
・小学校・中学校の健康診断



のだみらい
土屋　友紘
議員

ヤード等に対する規制と市民生活への影響について

問　**市道を無許可で通行する特殊車両への市の対応について伺う。**

答　市道を通行する車両が車両制限令に定める一般的制限値を超える場合には、道路法に基づき、あらかじめ道路管理者の許可を受けなければならないこととされている。

　無許可での通行や違法運行が確認された場合、またはそれに係る情報提供が寄せられた場合には、速やかに現地調査等を実施し、車両の規格や重量、通行ルートなどの事実関係を厳格に把握する。その上で、道路管理者として道路法に基づく是正指導を文書により行い、速やかな適正手続きを経るよう強く求めていく。

　改善が見られない場合や悪質な違反を繰り返す場合は、道路法に基づく厳格な法的措置を講じ、警察等の関係機関と連携を図りながら毅然とした対応をしていく。

他の質問
・集中豪雨を踏まえた水害・インフラ対策



のだみらい
遠藤　達也
議員

市民相談の引継ぎと管理体制について

問　**電話番号、氏名、追跡番号による管理について伺う。**

答　市民からの相談については、再度の相談や担当者変更の際にも不便をかけないよう、円滑に対応することは当然であるが、市として統一した管理共有体制はなく、部署ごとに対応しており、円滑な対応ができず苦情につながるなど、万全とは言えない状況である。

　また、人事異動時の引継ぎについては、本年４月から、事務引継書に最低限記載する項目を明示し、上司の確認を受けるよう徹底を図ったところであるが、十分に行われているとは言えない状況である。

　こうした状況から、次世代型デジタルシステムを全庁的に活用し、統一した管理、共有体制を構築していくとともに、引き続き事務引継書の作成に係るルールの徹底を図っていく。

他の質問
・市公共施設等総合計画　ほか

会議録をご覧ください

　市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は紙面の都合により要約してありますので、詳しい内容は会議録をご覧ください。会議録は次の場所で閲覧することができます。

◇市内各図書館
◇議会資料室（委員会会議録も含む）
◇情報公開コーナー（市役所総務課内）

　会議録及び委員会の会議録は、市議会ホームページでもご覧いただけますのでご利用ください。

議案等の審議結果

９月定例会の審議結果

議案番号	件　　名	審議結果
議案第１号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決・全会一致
議案第２号	廃棄物減量等推進審議会条例等の一部改正	可決・全会一致
議案第３号	認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	可決・全会一致
議案第４号	市立保育所設置及び管理に関する条例の一部改正	可決・賛成多数
議案第５号	都市計画事業野田市駅西土地区画整理事業施行に関する条例及び景観条例の一部改正	可決・全会一致
議案第６号	都市計画事業梅郷駅西土地区画整理事業施行に関する条例の廃止	可決・全会一致
議案第７号	財産の減額貸付け	可決・賛成多数
議案第８号	財産の減額貸付け	可決・賛成多数
議案第９号	新五駄排水機場機械設備更新工事請負契約の締結	可決・全会一致
議案第10号	市立小中学校学習用端末の購入	可決・全会一致
議案第11号	道路線の認定	可決・全会一致
議案第12号	道路線の廃止	可決・全会一致
議案第13号	令和８年度一般会計補正予算（第２号）	可決・全会一致
議案第14号	令和８年度国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	可決・全会一致
議案第15号	令和８年度介護保険特別会計補正予算（第１号）	可決・全会一致
議案第16号	令和８年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	可決・全会一致
議案第17号	青少年問題協議会設置条例の一部改正	可決・全会一致
議案第18号	常勤の特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定	可決・全会一致
議案第19号	令和８年度一般会計補正予算（第３号）	可決・全会一致
認 第 １ 号	令和７年度一般会計歳入歳出決算認定	認定・賛成多数
認 第 ２ 号	令和７年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定・賛成多数
認 第 ３ 号	令和７年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定・賛成多数
認 第 ４ 号	令和７年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定・賛成多数
認 第 ５ 号	令和７年度水道事業会計決算認定	認定・賛成多数
認 第 ６ 号	令和７年度下水道事業会計決算認定	認定・全会一致

発議番号	件　　名	審議結果
発議第２号	オウム真理教（アレフ、ひかりの輪、山田らの集団）に対する観察処分の期間更新を求める意見書	可決・全会一致
発議第３号	国における２０２７年度教育予算拡充に関する意見書	可決・全会一致
発議第４号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可決・全会一致

請願番号	件　　名	審議結果
請願第１号	「国における２０２７年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択・全会一致
請願第２号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採択・全会一致

市議会ホームページには、審議結果のうち賛否が分かれたものについての議員別表決結果などを詳しく掲載しております。
https://www.city.noda.chiba.jp/gikai/1028233/1028235/1052159.html

12月定例会のお知らせ

11月30日 月曜日 開会の予定です

日程は11月24日(火)に開催予定の議会運営委員会で正式に決定します。

定例会の日程は市議会ホームページでもご覧いただけます。

開　会 11月30日(月)	会期の決定、議案上程、市政一般報告
12月８日(火)	提案理由説明、議案質疑、委員会付託
９(水)	一般質問
10(木)	
11(金)	
14(月)	常任委員会(議案等の審査)
15(火)	
18(金) 閉　会	委員長報告、質疑、討論、採決

編集後記

秋も深まり、朝夕の冷え込みを感じる季節となりました。今年は地震や豪雨、台風など全国で自然災害が続きました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

９月定例会における前年度決算や一般質問では、予算がどのように使われ、市民の安心につながったのかを確かめながら議論を進めました。紙面では全てをお伝えできませんが、議会だよりを通じて議会の取組を少しでも身近に感じていただければ幸いです。インフルエンザも流行していますので、ご自愛ください。

広報委員会　副委員長　滝本　恵一

スマートフォンやパソコンで

のだ市議会だよりがご覧になれます

無料アプリ「カタログポケット(Catalog Pocket)」を使って、のだ市議会だよりが、スマートフォンやタブレット、パソコンでご覧いただくことができるようになりました。

ダウンロードはこちらから▶

Android版

iOS版



注:アプリのダウンロードは無料ですが、情報の受信には通信料が発生しますので、ご注意ください。アプリをインストールしなくても、ウェブサイトで閲覧は可能です。

相続の手続きを丸ごとお引き受けいたします！

亡くなった後の手続きは こんなに大変です！！

1．親が亡くなった後、最初に迎えるピンチ！
　預金口座の凍結を解除するには！
2．申告ミスすると「追加金」！
　知らなかったでは済まされない相続税の申告
3．一つでも忘れると、あとが大変。
　役所に出す書類、役所でもらう書類

このような煩雑な相続のお手続きは、私たち専門家にお任せください！

こんなお悩みはございませんか？



・平日は仕事で、役所に行く時間がない
・相続が発生したが、何をしたらよいかわからない
・専門家に任せるにしてもどの専門家に任せてよいのかわからない
・高齢のため自分で手続きを進めるのは体力的にも限界が…

一般社団法人　相続手続支援機構
TEL 0120－888－381
税理士法人　永光パートナーズ

← 個別無料相談はこちらを読み込んでお申し込みください

のだ市議会だより

No.172　令和８年11月１日発行／野田市議会広報委員会
〒278-8550　千葉県野田市鶴奉７－１　TEL.04-7124-0109
野田市議会ホームページ　https://www.city.noda.chiba.jp/gikai/index.html
野田市議会　検索

UD FONT by MORISAWA　高齢者や視覚の弱い方でも誤読の少ないユニバーサルデザインフォントを採用しています。